

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 修文



### ■ 昨年度事業の気づき

9月1日から市議会定例会が開かれています。主要な議案は昨年度事業の決算認定です。議会には審査資料を提出しましたが、その中から、市民のみなさんにも何点かご報告します。

#### ● 転入奨励金事業

転入奨励金事業の交付件数（転入して住宅を取得した市民）が伸びています。

アンケート等の結果。トップは、職業は会社員。年齢は30歳代。家族構成は4人世帯。前住地は宇部市。本市で住宅を取得した理由は環境が良い。課題は子育て環境の充実。制度はホームページ等で知った。

#### ● 若者交流推進事業

平成25年度から実施した若者交流推進事業は好評でした。26年度の実施回数8回。参加総数154人。参加者の感想は、全員が「楽しかった」か「まあまあ良かった」。事務局に申出のあった連絡先交換希望件数は64件。

#### ● 市誕生10周年記念事業

##### 歌って祝おう！第九「歓喜の歌」

公募による合唱団約160人参加。後半は会場全体が熱気と感動に包まれました。終了後の指揮者の講評も大変好意的でしたが、担当部署（文化会館）は「数年に一度の開催を検討したい」と、意外に冷静です。

#### ● デマンド型交通

今年1月から、厚狭北部にデマンド型交通を

導入しましたが、そこを除くと市内路線のバス利用人数は1年におよそ100万人弱で推移しており、国の支援を含めて、バス会社に年約1億3,000万円の

補助金を出しています。どうぞみなさんも、バスのご利用を！



#### ● 厚狭駅南部のコンパクトシティ・小野田駅前土地区画整理事業（50年来の課題）

どちらも、担当課には苦勞が多いようです。

#### ● 住宅リフォーム資金助成制度

平成7年の阪神・淡路大震災当時、全壊・半壊を問わず、当初、一切の補償・助成は出なかったそうです。住宅は私有財産なので、補償や補助の対象にはできないとの考え方が強かったのでしょうか。零細事業者を含む地域経済の活性化と住環境の向上という「共助」の思想は、社会の成長を示すものだと思います。

その他、もっと工夫や努力が必要だったのでと反省する事業もいろいろあります。職員とともに、さらなる前進を心がけます。



歌って祝おう！第九「歓喜の歌」の様子